

てんご新聞

2022.6. No.180
行住 市岡日越
発行 0883-98-5292
発費

青春の心もと
墓前祭

生誕 100周年

故 長尾孫天



前号でお知らせしました故長尾孫天さん
生誕100周年墓前祭が五月十一日栗枝渡に
て開かれまして、
井川町の瑞木でこの日おひめとして百たんの母方
協力のもと、墓前には故長尾孫天さんご作
詞の讃歌「時の流れに」を詠んでノボリがた
く、高知校徳島県人会の皆さまのリー

東祖谷中學生

三嶺登山

五月三十日、東祖谷中學校生が
三嶺へのクリーン登山を実施し
同行させてもらいました。
何回か祖谷の山に登っている生
徒もいれば、今回の三嶺がはじ
めという生徒もいました。か
登りながら、草木の観察を
はじめ、動物の存在の予想や
小まな昆虫を見つけたりと、山の自然を身
身に感じながら、十一時には三嶺山頂に到達。
頂上からの展望と風の気持ちよさに、疲れも
忘れの様。それどころか「ハラハッ！」と
の声。頂上では記念の写真撮影をし、小
屋近くまで下って、持ち帰った食事。
お母さん達の手作り弁当を食べておひめしほ
し静かな時間が流れる。
一時雨の降る。いよいよ目的のゴミ拾い下山
開始。登る時はそれ程目にはいかなかったが、以外
に多量の空き缶、ビール類がありました。
いおれも、最近というより、教員前に捨てる

いおれも、最近というより、教員前に捨てる
いおれも、最近というより、教員前に捨てる
いおれも、最近というより、教員前に捨てる

この日は、青空となり、遠くには暮合某塔也
祖谷の山々を望める好天気。
長尾孫天さんの心がこの日を演出したよつが
爽やかな時間が流れました。
その後、反対の山、中上の西園さんを中心に移動し
白土出森大嶺に輝いた。時の流れに似たり作象藍友
紀をこの日を囲んで、交流会をこましました。
藍さんの取材における話を中心に、祖谷が孫夫
さんの事を知っている人の話など、讃歌のことなど
坂本さん達が準備して下さった。お弁当、お水
を準備して下さり、お弁当が食べました。

またまた
遭難
ヤンキー

五日六日に、またも遭難が発生。
今回も、二人で登り、別行動する予定。白
土の川注意、不見識が起きている。遭難に
ケイタイ電話の発達で、すぐに連絡し
地元関係者を動員する騒ぎとなつ
てしまつた状況。本当に、心んとかかりませ
んか、便利なのを考えるものであります。



山頂の様子。クリーン登山で何々
を感のこころうええこころ結い限り